

参加者ネットワーキング

8月29日（火） 11:00-16:45 会場G（4階・和室）

8月30日（火） 9:20-13:50 会場G（4階・和室）

年次大会には、全国から400人以上の研究支援・産学連携に関わる関係者が集います。他機関の URA との地域や組織を越えた対話や交流を通じて、業務課題の解決やステップアップにつながるネットワークを形成する絶好の場です。昨年、試験的に実施した参加者が機関や立場、役職を越えて自由に対話する“参加者ネットワーキング”をバージョンアップして座敷・車座で実施します。

1日目は、昨年、盛り上がった「プレアワード」（科研費～大型国プロまで）に関する現場の具体的な支援や困りごと、裏技などについて対話するセッションと、どの大学も課題の多い「国際化」に関する海外機関との連携、外国人研究者支援などについて対話するセッションを実施します。2日目は、テーマ設定はせず、その場の参加者の興味・関心の赴くまま自由に対話します。いずれも、世話人がファシリテーター役として、参加者が楽しい対話とネットワーキングできるようお手伝いしますので、お気軽にご参加ください。入退場も自由です。

1日目 8月29日（火） 設定されたテーマに基づいて対話します

プレアワード 8月29日（火） 11:00-12:20 会場G（4階・和室）

プレアワードに関する共通の課題として、科研費をはじめとする競争的資金の獲得にまつわる現場の具体的な支援や困りごと、URAが具体的にどんな支援をしているか、事務部門との連携、他機関との共通事項などについて対話を展開します。昨年度実施したネットワーキングで、一番議論の多かった「科研費」からスタートして、参加者からの話題提供に応じて、他の競争的資金の獲得に関する話へも展開します。今年、科研費改革をむかえる点で、昨年とはちがった課題が想定されます。

機関内で共有する仲間がいない人や、1人で困っている人は他機関にたすけてくれる仲間をつくれるチャンスです。お気軽にご参加ください。

世話人：石田 貴美子 同志社大学 研究開発推進機構 リサーチ・アドミニストレーター
田中 有理 中央大学研究推進支援本部 リサーチ・アドミニストレーター

国際化 8月29日（火） 15:15-16:45 会場G（4階・和室）

国際セッションでは、国際関連業務を担当している方々の情報共有をすることで、日々感じる疑問点や問題点への解決や、国際業務担当のURAの目指す方向について考えます。

大学の国際化の必要性が唱えられるようになってから、かなりの時間がたち、各大学でも様々な方策をとっています。ところが、国際業務といっても内容は多岐にわたります。大学執行部の考える国際化では、協定の増加、研究者の受入・派遣の交流数の増加、国際共著論文の増加など、数値が重視される傾向にあります。一方、研究現場での海外の研究者との情報交換などは、国際共同研究の発展の特に初期の段階においては、具体的な数値に現れにくいところがあります。国際化によって、事務面でも多くの業務が発生します。また、比較的規模の大きい大学では、海外拠点の設置も積極的に行われていますが、この運営についても、様々な方法があり、解決すべき問題も多くあります。

こうした状況について、気軽に自分の現在の業務について話すと同時に、他の方の業務についても知ることで、大きくは今後の日本全体の研究機関の国際化が進んでいく助けになるのではないのでしょうか。

世話人：西村 薫 東京大学 医科学研究所国際学術連携室 URA
大澤 由美 京都大学 学術研究支援室 特定専門業務職員URA
吉岡 佐知子 京都大学 学術研究支援室 特定専門業務職員URA

2日目 8月30日(水)

※興味・関心の赴くまま自由に対話をします

8月30日(水) 9:20-13:50 会場G(4階・和室)

2日目は、特にテーマを設定しません。

会場に集まってきた参加者からトピックスを出してもらい、それに基づいて対話を展開します。

1日目に参加したセッションの話題、日頃の業務で考えていること、他の大学・機関ではどうしているのか知りたい、ちょっと困っていることがある、キャリアパスに不安を感じる、RA協議会に対する意見・提案など、どんなトピックスも「あり」です。是非、昨日まで他人だった誰かの考えを聞き、対話し、新しくつながることを楽しんでください。なお、2日目の世話人(ファシリテーター)は、時間帯よって入れ替わります。

世話人：阿部 紀里子	信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 URA
石田 貴美子	同志社大学 研究開発推進機構 リサーチ・アドミニストレーター
田中 有理	中央大学 研究推進支援本部 リサーチ・アドミニストレーター ほか

ネットワーキングの対話は、参加者に「付箋紙」に意見や質問等を書いてもらう形で進めます。

終了後、付箋紙をテーマ別に会場内に掲示する予定です。ネットワーキングセッションで、どんな話題や意見が出ているのか興味のある方も、会場にお立ち寄りください。

ネットワーキングランチ

8月29日(火) 12:20-13:20 / 8月30日(水) 12:40-13:50 会場G(4階・和室)

ランチタイムは、年次大会の感想など雑談をしながら、ネットワーキングする場として2日間とも開放します。お昼ごはんを持参して誰でもお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

Special Interest Group

競争的資金と研究戦略

8月29日(火) 13:30-15:00 会場G(4階・和室)

参加者ネットワーキングの会場において、特定テーマについて関心のある人が集まり、少人数で議論・意見交換するSIGセッション(Special Interest Group Session)を試行します。

本年度は下記4つのテーマを設定します。ご興味のある方はご参加ください。

- 1. 競争的資金制度**：現場で評判の良い研究プログラム、ファンディングエージェンシーに対するURAの協力(ホットな研究トピックス収集、研究現場における問題収集など)、大学の競争的資金獲得戦略のあり方、課題などについて意見交換します。
- 2. 獲得強化に向けた調査分析**：文部科学省SciREX事業により現在構築中で、科学技術に係る各種データを研究者や政策立案者がオープンに活用できるプラットフォーム「SPIAS」は、代表的な研究者がどのように研究資金を獲得しているのかなど、様々な観点から研究のインプットとアウトプットの関係を調べることが可能です。このデモを見てもらいながら、大学として競争的資金の獲得戦略のあり方や、各大学の実情、課題などについて意見交換します。
- 3. 研究拠点の持続的発展に向けた戦略と課題**：21世紀COEや世界トップレベル研究拠点(WPI)など、過去15年ほど進められてきた大型の拠点形成事業について、新たな研究拠点の構築、各大学の現状や課題、プロジェクト終了後のエコシステム確立のあり方などについて意見交換します。
- 4. 研究基盤の整備(機器共用と専門人材)**：大学等における研究活動の進展を基盤的に支える研究設備・機器は、政府の研究開発投資の伸びが停滞する中、新たな共用システム導入などが求められています。新たな機器導入や専門人材の維持のあり方、課題などについて意見交換します。

オーガナイザー：丸山 浩平 早稲田大学 研究戦略センター 教授